

予算審査特別委員会

総括質疑

深見 迪 議員

「介護事業所の経営と介護ヘルパーの人材確保は」

問 介護の問題だが、国の地域支援事業の開始で要支援サービスが増えてきている。そのため、事業所の経営が非常に厳しくなってくるのではないか。

また、介護ヘルパーの人材確保についてはどうか。

答 要支援サービスが増えて来るのと、支援計画を作る部分でかなり苦労をしていると思う。それに加えて要支援の場合単価が安いので、支援を受けてもらえないという状況が出て来ると思う。

全町的に、介護現場で働く職員、専門職がないという事実は議員指摘の通りである。

今後どうやって専門職を確保していくかというところは町としても各事業所にしても重たい課題である。

平成29年度 決算を認定

平成29年度決算審査特別委員会が平成30年10月10、11日に行われ、一般会計、特別会計、企業会計について審議し、審査の結果認定すべきものとなり、12月5日開催の第4回定例会で認定されました。

(円)

区 分 会 計 名	決 算 額		差 引 残 高	
	歳 入	歳 出		
一 般 会 計	135億5,601万0,000	133億8,496万5,000	1億7,104万5,000	
特 別 会 計	国 保 事 業	12億9,936万3,000	12億7,044万8,000	2,891万5,000
	下 水 道 事 業	5億6,498万8,000	5億6,498万8,000	0
	介護保険(事業)	8億8,047万9,000	8億4,111万2,000	3,936万7,000
	介護保険(サービス)	5億1,271万6,000	5億1,268万6,000	3万0,000
	後期高齢者医療	9,968万9,000	9,910万3,000	58万6,000
	簡易水道事業	1億1,130万2,000	9,394万3,000	1,735万9,000
	特別会計小計	34億6,853万7,000	33億8,228万0,000	8,625万7,000
総計(一般+特別)	170億2,454万7,000	167億6,724万5,000	2億5,730万2,000	

企業会計・病院 (円)

総 収 益	総 費 用	当年度純利益
10億7,685万1,605	10億7,436万9,440	248万2,165

企業会計・上水道 (円)

収 入 合 計	支 出 合 計	当年度純利益
8,827万0,238	7,644万2,356	1,182万7,882



決算審査特別委員会

総括質疑

櫻井 一隆 議員

「酪農センターの管理業務に
ついで」

問 虹別酪農センター及び磯分内酪農センターでは同じ酪農センターであるのに管理業務が異なるのはなぜか。また、今後については同じ条件での管理業務にすべきではないか考えを伺いたい。

答 虹別酪農センターについては休館日の特別開放・地域の行事等に施設の開放ができないか考えた時、職員対応では勤務上の関係もあり難しいため、民間の活力を活用した外部委託の方法を検討し、現在、虹別連合振興会が管理及び清掃業務を受けている。磯分内についても現在直営であるが、臨時職員の退職年齢が来ますので、その時には虹別と同様に地域の中で管理できるか振興会と協議をしていく。



虹別酪農センター

後藤 勲 議員

「と畜場凍結後の経費等につ
いで」

問 と畜場凍結後のその間の経費について、釧路管内組合長会及びホクレン等を含めどのように処理されたのか、また、凍結というものは、いずれ復活する見通しはあるのか。

答 農協組合長会と協議し委託業務についてどういう負担をするか覚書を交わしている。
金額は、地質調査分は234万3千600円、ボーリング調査分は68万1千200円となっており、既に納付されている。

凍結問題は、もう一度復活ということとは、至難のわざであると考えている。

「排水機場が必要ではないか」

問 6月議会において、3年間に2回もの水害があった事に、この町を守るのに最良である排水機場を国に要望するとの答は、どの様な要望をしてきたのか、それまでの間、町はどのようにして水害を守る努力をするのか。

答 設置についてはかなりの事業費になり費用対効果の部分が強く求められる説明を受ける。本町に当てはめた時に被害額が大きく出ない、大きな費用を要する排水機場を整備するまでの被害実態にないのではないかとこの話があり、難しさがある。

「なぜ、回数券を買うことが
できないのか」

問 平成18年から使用されている常盤パークゴルフ場では、なぜ、町外の人が回数券を買うことができないのか。

答 社会体育施設の有料化に伴う状況の検証と評価という調査を継続して現在も実施しているところでパークゴルフ場、プール含めて検証を進めている段階で、町の体育施設、所管している施設の使用料等について検討中で回数券の町外利用者に対する対応含めて検討中である。



常盤パークゴルフ場

渡邊 定之 議員

「私有耕作道の範囲」は

問 近年の異常気象により、被害を受けた私有耕作道の補修をJAしゅちやと町が連携して進めたがどこまでの範囲なのか。

答 全面が全部生活道路に使っているところは含まれない。

国道、道道から畑まで行く耕作道路は対象になる。一部重複する道路があるなら対象になる可能性がある。

「避難所にある公衆電話の利用は」

問 地域の避難所にある公衆電話は使用されない状況だ、町としての対応は。



答 地域の施設として電話を置かれたものと思うが、電話の設置者が町ではないため詳細について把握していない。

本多 耕平 議員

「収入未済額の内容は」

問 土地売却収入未済額17万5,766円は過去5年間同額となっている、その内容と解決策は。

答 川東地区の区画事業この事業の付保留地処分代金が未納になっている。分納の協議を進めている。

問 雑入で24万3,841円の収入未済額があるがこれについての説明を願います

答 電気利用料の現年分、滞納繰越分、高額医療費払戻金の滞納繰越分、町営住宅宮繕料の滞納繰越分などの合計で、24万3,841円となっている。

「第三セクター憩の家への貸付金利息は発生したのか」

問 第三セクター憩の家への貸付金で、平成29年11月返済があった。遅延利息は請求すべきではないか。

答 遅延利息は受け取っている。

「林業と酪農の好循環を」

問 毎年2万5千立米蓄積され、伐採地は間伐か皆伐だが、本町酪農にオガクズは不可欠で林業の公益性を考える時、林業と酪農の好循環を図る施策を考えるべき。

答 林業基本法が新しくなり環境保全が位置づけになって公益性等々を重視するようになった。その時々々の社会経済状況を見据えて、切った以上は植えることが重要ではないかと考える。

「それぞれの集会所の維持管理は」

問 昭和30年代各集落に建設された件数はいくつあるか又、時代背景で人口減少の進む中、全く利用されていない集会所があると聞く、今後の会館の管理運営をどのように考えるか。

答 コミュニティハウスと呼ばれるのが37ヶ所あるが地域所有の建物なので取り壊し等の判断は地域がされるもの。



「育成牧場経営内容を問う」

問 28年対比で29年度は受託頭数で約7万3千頭増加しているが又、堆肥切り替えて300万から900万と増加しているがその内容は。

答 頭数に多少の伸びがあったが、家畜管理部分を重点的に取り組むべきとの考えから委託の部分を外注をせざるをえない部分増えた。



標茶町育成牧場

「キャンプ場の管理について」

問 キャンプ場関係で122万7千円外注している。本町の観光施策を考える時展望台の案内図の点検を含め主体性を持った係が総合的に管理すべき。



多和平キャンプ場

答 キャンプ場などは、観光課の所管だが牧場の多面的機能等々から牧場が管理しているが、出来ないところを外注している。観光客が来て素晴らしい所と思われる環境整備を図る中で、整理が今後必要かと思っている。

「牧場の職員住宅のその後」

問 旧職員住宅の1棟はコスモスの人々の利用棟として、あとは解体と説明を受けているが、その後どのように対処しているか。

答 実際には使用していない。ぜひ早い段階で整備したい。



育成牧場 職員住宅



「説明看板の設置を」

問 古いトラクターの展示は確認されるが未だ説明看板が設置されていない、その後の対応は。

答 グリーンヒル多和の隣に置いてあるが、来年度から看板を立てるようにしたい。

「めん羊に対する今後の考えを聞く」

問 めん羊の飼養頭数が増加していない、今後の基本的な考えを問う。

答 めん羊飼養はコスト的に経営を圧迫していると聞く。

町の観光振興面からもプラスアルファがある。採算性だけではなく、トータルで考えたときどうあるべきかを現場で考えるべき。



「上オン別大規模施設の利用目的は」

問 上オン別施設は過去の議会答弁では緊急避難所として利用することであるが現在そのような目的として管理がされているか。

答 D型ハウス2つ、機械格納庫的倉庫3つある。

農機具等が入っているが、格納庫、D型ハウスの1棟は整理すれば緊急避難的施設として使える。

鈴木 裕美 議員

「在住功労者の記念品は検討すべき」

問 標茶町総合表彰式での在住功労者に贈られる記念品の額は、いただいても飾らないとの声が多く寄せられている。検討してはどうか。

答 表彰審査会の意見も聴きながら検討したい。



平川 昌昭 議員

「町有財産の温泉井戸の管理の徹底を」

問 町有施設として、第1号、第2号、第3号温泉井戸を活用している状況は。

答 1号温泉は野球場の施設内であり、やすらぎ園、駒ヶ丘荘、町営プールの熱交換用として、2号温泉はふれあい交流センターのところにあり、病院、交流センターの浴室、床暖房の熱交換、廃熱利用としてロードヒーティングに利用しており、3号温泉は茅沼温泉井戸として、憩の家の施設で利用している。

問 点検・管理についての報告について徹底されているか。

答 ポンプの維持管理は備品購入費、ポンプ購入費と取替えを含む委託料で予算化し、ポンプ配管等を交換することを含め、2本立てで実施している。

また、ポンプ交換はさく井戸の建設業許可業者に委託している。



温泉井戸

「各会計における収納対策として徴収員の補充をすべきでは」

問 今後の課題として、徴収員等を雇用し収納の向上を目指すべきでは。

答 行政改革の中で職員を出来るだけ少なくする努力をしてきたが、これから先の職員あり方を含め、職員だけでなく経験者を再雇用するのかなど、有効な手段と想っているので、ぜひ検討していきたい。

「施策としてのゴーゴーチャレンジショップ支援事業の継続を」

問 町独自の施策としてこの事業は平成19年4月から施行され、毎年度活用されている。平成31年3月までの時限立法となっているが町民からの要望等に対応しながら継続していくべきと考えるが見解を伺う。

答 今までの実績等においては非常に効果的な事業ということで考えている。今後ともこの規則が続くような形で進めていきたい。



深見 迪 議員

「差し押さえの基準は」

問 税その他使用料等の未納者への差し押さえによって、著しく生活が困窮するよつな町民はいなかったのか。差し押さえは、どのような基準で行っているのか。

答 差し押さえについては、給与等であれば差し押さえ禁止金額等もあるため、最低限の生活に支障のない形で実行している。

「福祉除雪における人員確保について」

問 福祉除雪は、人員確保が、非常に厳しい状況になっている。場合によっては、役場の職員の力、町内会の体制、隣近所の助け合いなどを考えてはどうか。

答 なかなか人員確保ができないという話は聞いている。限られた役場職員の中で、町職員が行うのはかなり厳しい状況であると思う。人員確保については、次年度に向けて検討していきたい。

